

- 問1 中京工業地帯は地域によって主要な工業が異なります。愛知県豊田市周辺では自動車工業が中心であるのに対し、三重県の日南市周辺で特に発達し、他産業に原材料を供給する役割を担っている工業の名称を選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 精密機械工業 2. 石油化学工業 3. せんい工業 4. 食料品工業
- 問2 日本海に大きく突き出た能登半島を擁する石川県において、その行政の中心である県庁所在地として正しい都市名を選択してください。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 新潟市 2. 金沢市 3. 福井市 4. 富山市
- 問3 日本で最も長い河川であり、長野県から新潟県へと流れて日本海に注ぐ河川の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 利根川 2. 信濃川 3. 石狩川 4. 阿賀野川
- 問4 東京都中央卸売市場におけるレタスの月別取扱量の統計をみると、8月を中心とした夏季において、長野県産の取扱量が他県を圧倒して多くなっています。このように、標高が高い地域の涼しい気候を活かして、他の地域が栽培に適さない時期に野菜を出荷する農業形態を何といいいますか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
1. 高冷地農業 2. 二毛作 3. 近郊農業 4. 促成栽培
- 問5 愛知県の渥美半島は、かつては水不足に悩まされる地域でしたが、ある大規模な用水路が整備されたことで、日本有数の農業地帯へと発展しました。この地域に供給され、施設園芸農業の発展を支えている用水の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 愛知用水 2. 明治用水 3. 豊川用水 4. 香川用水
- 問6 日本海側の気候の特色を示す統計において、海岸沿いの新潟市と、内陸の盆地に位置する長野市の月別降水量を比較したとき、新潟市の方が冬季の降水量が格段に多くなる傾向があります。この理由を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 長野市などの内陸部は標高が高いため、雪に変わる前の水蒸気がすべて沿岸部で雨として落下してしまうため
2. 新潟市は対馬海流という寒流の影響を強く受けるが、内陸の長野市は地形の影響で気温が下がりにくいため
3. 盆地特有の地形で、夏に蓄えられた熱によって冬の雲が消滅し、降水が抑制されるため
4. 北西からの季節風が、まず海岸付近で雪や雨を降らせ、内陸の盆地には山々に遮られた乾燥した空気が流れ込むため
- 問7 東海地方、特に渥美半島周辺で「電照菊」などの施設園芸農業が発達した理由と、その営農上の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
1. 季節風を遮る高い山々に囲まれた盆地の気候を活かし、扇状地を利用してブドウやモモなどの果樹栽培を専門に行っている。
2. 夏の冷涼な気候を活かして、他の地域で収穫できない時期に野菜を出荷する抑制栽培を行い、輸送園芸を成立させている。
3. 広大で平坦な土地を確保しやすいため、大型機械を導入して、小麦や大豆などを大規模に生産する土地利用型農業を行っている。
4. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、温室などの設備を用いて出荷時期を調整しながら、大消費地へ向けて生産している。
- 問8 中部地方で見られる農業の特色について、その背景や理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 長野県では、冬の積雪が少ないことを活かして、工芸作物を中心とした農業産出額が最大となっている。
2. 新潟県では、内陸の乾燥した気候を活かして、畜産と野菜の産出額が米を大きく上回っている。
3. 愛知県では、都市部から遠い立地を活かして、大規模な米の産地形成が他の作物よりも優先されている。
4. 山梨県では、盆地周辺の傾斜地や扇状地の水はけが良いことを活かして、果実の産地形成が進んでいる。
- 問9 2015年に長野から金沢駅まで延伸開業した北陸新幹線が、地域社会や交通網に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。
2. 新幹線開通と同時に並行する在来線の運行本数が増加し、地域住民の日常的な利便性が飛躍的に向上した。
3. 新幹線の整備によって運賃が大幅に低下したため、自家用車や高速バスを利用する人がなくなった。
4. 交通の利便性が向上したことにより、地方から東京へ人口が集中する「ストロー現象」が解消された。
- 問10 静岡県などの茶の栽培地域において、高いポールの先に扇風機が設置された「防霜ファン」という設備が導入されている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 地表付近の湿った空気を上空へ拡散させ、茶の葉がカビによる病気になるのを防ぐため。
2. 強い風を茶の葉に直接当てることで、害虫の付着を防ぎ、農業の使用量を減らすため。
3. 人工的な風によって茶の葉を揺らし、光合成を活発にさせることで収穫量を増やすため。
4. 上空にある比較的暖かい空気を地表付近に送り込み、新芽が霜の被害を受けるのを防ぐため。
- 問11 中部地方の産業に関する説明において、石川県の県庁所在地であり、歴史的な屏風の装飾などにも使われる伝統工芸品の金箔（きんぱく）が、国内生産量のほとんどを占めている都市はどこか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 富山市 2. 輪島市 3. 金沢市 4. 福井市
- 問12 中部地方の日本海側に位置する北陸地方（富山県など）の工業について、製品出荷額の構成比を示した統計において、金属工業が約9.5%、化学工業が約11.3%を占めるなど、これらの産業の割合が他地域に比べて高いという特徴があります。北陸地方でこのような工業が発達した歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 首都圏へのアクセスが良いため、鮮度が重視される食料品工業が優先的に発達したため
2. 急峻な地形と豊富な水量を活かした水力発電による、安価な電力を利用できたため
3. 広大な平野部を利用して、自動車や航空機などの輸送用機械の組み立て工場が集中したため
4. 大規模な石油コンビナートが沿岸部全体に広がり、プラスチック加工が産業の中心となったため
- 問13 静岡県島田市の地形図において、権現原周辺に茶畑の地図記号が広く見られる理由として、この地域の自然環境や地理的条件から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 寒冷な気候に強く、雪の多い地域でも安定して収穫できる作物として推奨されたため。
2. 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。
3. 島田駅や図書館などの公共施設が南側に集まっており、都市部での消費が期待できるため。
4. 大井川から大量の水を引くことが容易であり、常に湿潤な土地を好む茶の性質に合っているため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 石油化学工業	中京工業地帯は日本最大の出荷額を誇りますが、その内訳は場所ごとに特色があります。内陸部の豊田市を中心とした自動車工業（輸送用機械）と並び、伊勢湾沿いの四日市市では臨海部の立地を活かした石油化学工業が発達しており、重化学工業の重要な拠点となっています。
問2	答え 2 金沢市	北陸地方に位置する石川県は、能登半島という特徴的な地形を持っています。その県庁所在地である金沢市は、北陸地方の政治・経済・文化の拠点として重要な役割を果たしており、歴史的には加賀藩の城下町として発展した背景があります。
問3	答え 2 信濃川	全長約367kmにおよぶ日本で最も長い河川です。上流の長野県内では千曲川と呼ばれ、新潟県に入ると信濃川と名称が変わります。越後平野（新潟平野）を形成する要因の一つとなっており、稲作が盛んな地域の農業用水としても重要な役割を担っています。
問4	答え 1 高冷地農業	長野県の八ヶ岳山麓や浅間山麓などは標高が高いため、夏でも涼しい気候が保たれます。この自然環境を利用して、平地では気温が高すぎて栽培が難しい夏季に、レタスやキャベツなどの高原野菜を栽培・出荷しています。市場での供給が減る時期に合わせることで、有利な価格で販売する工夫がなされています。
問5	答え 3 豊川用水	渥美半島はもともと大規模な河川がなく水不足に悩まされていましたが、1960年代に豊川用水が完成したことで、安定した農業用水の確保が可能になりました。これにより、温室を利用した施設園芸農業が急速に発展しました。なお、愛知用水は知多半島、明治用水は安城市周辺（西三河平野）を流れる用水です。
問6	答え 4 北西からの季節風が、まず海岸付近で雪や雨を降らせ、内陸の盆地には山々に遮られた乾燥した空気が流れ込むため	湿った季節風が山脈にぶつかる際、風が直接当たる海岸沿いの地域で最も活発に雪や雨が降ります。長野市のような内陸の盆地は周囲を高い山に囲まれているため、湿った空気が入り込みにくく、海岸沿いの新潟市などに比べると冬季の降水量は少なくなります。
問7	答え 4 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、温室などの設備を用いて出荷時期を調整しながら、大消費地へ向けて生産している。	東海地方の太平洋沿岸は、黒潮の影響により冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候的条件に加えて、温室やビニールハウスなどの施設を導入することで、植物の成長を早めたり開花時期をコントロールしたりすることが可能になります。こうして生産された農産物は、中京圏や首都圏といった人口の多い大都市（大消費地）へ向けて出荷されます。盆地での果樹栽培は山梨県、冷涼な気候を利用した抑制栽培は長野県などの高地、大規模な畑作は北海道に多く見られる特徴です。
問8	答え 4 山梨県では、盆地周辺の傾斜地や扇状地の水はけが良いことを活かして、果実の産地形成が進んでいる。	農業の特色は、その土地の自然環境と深く結びついています。山梨県の甲府盆地周辺は、果樹栽培に適した「水はけの良い地形」を活かして、果実の産出額が非常に高くなっています。長野県は冷涼な気候を活かした野菜、新潟県は平野と豊富な水資源を活かした米が主力であり、それぞれ異なる背景に基づいて産地形成が行われています。
問9	答え 1 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。	北陸新幹線の延伸により、首都圏と北陸地方を結ぶ鉄道の所要時間が大幅に短縮されました。これにより、金沢駅を中心とした観光地へのアクセスが向上し、交流人口の増加や観光消費による経済効果ももたらされました。一方で、新幹線の運賃は安価になるわけではなく、また大都市へ人や経済が吸い寄せられる「ストロー現象」や、並行在来線の経営分離といった課題も存在します。
問10	答え 4 上空にある比較的暖かい空気を地表付近に送り込み、新芽が霜の被害を受けるのを防ぐため。	4月上旬などの春先は、茶の柔らかい新芽が芽吹く時期ですが、夜間に地表の熱が奪われる「放射冷却」が起きると、地表付近の温度が下がって霜が降りることがあります。新芽が霜に当たると枯れてしまい、品質や収穫量に大きな影響が出るため、地上数メートルの高さにある比較的暖かい空気をファンで地表に送り込み、茶畑の温度を下げないように工夫されています。
問11	答え 3 金沢市	石川県の県庁所在地である金沢市は、江戸時代から続く伝統工芸が盛んな都市です。特に金箔は、現代においても全国の生産量のほぼ100%を占める代表的な産業となっており、俵屋宗達「風神雷神図屏風」といった歴史的文化財の装飾など、古くから日本の美意識を支えてきました。選択肢にある輪島市は輪島塗で有名ですが、県庁所在地ではありません。
問12	答え 2 急峻な地形と豊富な水量を活かした水力発電による、安価な電力を利用できたため	北陸地方、特に富山県などは、雪解け水や急流な河川を利用した水力発電が盛んに行われてきました。金属工業（アルミニウム精錬など）や化学工業は、製造過程で大量の電力を消費するため、安価な電力を得やすいこの地域で古くから発達しました。現在もその名残から、全国平均に比べて化学や金属の割合が高い傾向にあります。
問13	答え 2 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。	茶の栽培には、年間を通じて温暖な気候であることと、根腐れを防ぐために水はけ（透水性）が良い土地であることが重要です。島田市を流れる大井川周辺の台地や斜面は、砂礫質の土壌が多く水はけに優れているため、大規模な茶園が発達しました。選択肢にある「図書館が南にある」といった情報は土地利用の直接的な理由にはなりません。